

◆A 主として知識に関する問題

特に課題が見られた内容

「短歌を読む」

「短歌の形式に従って、意味のまとまりをつかむこと」に課題がある。

(読むこと) 設問 7ー

	正答率	無解答率
本 県	28.7%	1.0%
全 国	28.9%	0.8%

「鑑賞文を書く」

「主語に対応させて述語を適切に書くこと」に課題がある。

(書くこと・言語事項) 設問 1ー

	正答率	無解答率
本 県	49.7%	5.2%
全 国	49.8%	5.6%

指 導 上 の 工 夫

●意味のまとまりに着目して、作者のものの見方や感動をとらえる学習活動の工夫

- ・短歌を読む際には、意味のまとまりから句の切れめについて考え、作品の基本的な構造をとらえさせる指導が大切である。
- ・作者の視点や物事のとらえ方を手がかりとして、短歌全体の内容を考えさせる指導が必要である。
- ・慣用句等の文語表現に関心を持たせたり、古典の学習と関連付けたりして、文語調の文章に親しませる指導が必要である。

●語・文・段落の関係について吟味する学習活動の工夫

- ・文章を書く際は、語句の用い方、主語と述語の関係、さらに段落構成が適切であるかどうかを意識して記述させる指導が必要である。
- ・推敲の際には、自分で読み直すだけでなく、ペアやグループで、誤りを指摘し合ったり、表現の仕方を学び合ったりして、自分の表現に役立たせるなどの指導が大切である。

◆B 主として活用に関する問題

特に課題が見られた内容

「情報を読む」

「資料に表れている工夫を自分の表現に役立たせること」に課題がある

(書くこと・読むこと) 設問 1三ア

	正答率	無解答率
本 県	56.7%	7.8%
全 国	59.1%	7.1%

「簡潔にまとめて書く」

「文章から必要な情報を読み取り、簡潔にまとめて書くこと」に課題がある。

(書くこと・読むこと) 設問 2二

	正答率	無解答率
本 県	66.4%	13.7%
全 国	66.4%	13.1%

「文章と補助資料のかかわりを理解する」

「複数の資料を関連付けて読むこと」に課題がある。

(読むこと) 設問 2三

	正答率	無解答率
本 県	63.6%	18.0%
全 国	64.0%	17.8%

指 導 上 の 工 夫

●資料の表現の工夫を自分の表現に活用する学習活動の工夫

- ・新聞の見出しや広告のキャッチコピーなど、伝えたいことを簡潔に表現しているものを取り上げ、その工夫を考えさせるような指導が大切である。
- ・パンフレットや発表用資料などを作る際には、読み手や聞き手の立場を考えて、表現を整えたり、必要に応じてイラストや図表、写真を入れたりして、伝えたい内容が相手に分かりやすく伝わるように工夫させる指導が必要である。

●読み取った情報を簡潔にまとめて書く学習活動の工夫

- ・文章から必要な情報を取り出す際に、キーワードとなる語句に印をつけたり、メモとして書き出ししたりする学習活動を充実させることが大切である。
- ・キーワードを使いながら、いくつかの簡条書きにまとめる学習活動を充実させることが大切である。
- ・身の回りから簡条書きで書かれているものを取り上げるなど、簡条書きにする必要性や利点を理解させる指導が必要である。

●文章と図表とを関連付けて内容を読み取る学習活動の工夫

- ・説明的な文章を読む際には、文章と図表などとの関連を考えさせる必要がある。そのためには、図表の数値と文章との関係を考えさせたり、図表を使って文章の要点を分かりやすく説明させたりする学習活動を充実させることが大切である。
- ・社会生活との関連を図り、図表などを含む新聞や雑誌などを積極的に教材として取り上げる指導が必要である。

◆定着傾向が認められる問題

●話の内容を把握したり適切な質問をしたりすることは、多くの生徒が身に付けている。

- ・先生の話から必要な情報を聞き取り、メモをとる。(設問 A 知識 4 一 正答率：県 93.4% 国 92.7%)
- ・足りない情報を得るための質問として適切なものを選択する。(設問 A 知識 4 二 正答率：県 91.2% 国 90.9%)

●学年別漢字配当表の当該学年の前の学年までに配当されている漢字を読むことは、多くの生徒が身に付けている。

- ・抵抗 (設問 A 知識 8 二 (1) 正答率：県 98.3% 国 98.2%)
- ・迫る (設問 A 知識 8 二 (3) 正答率：県 92.0% 国 91.0%)

(注) 課題が見られた内容は、「A知識」「B活用」両問題ともに正答率が低い5問を抽出し、その中から無解答の状況や領域などを考慮して「A知識」は2問、「B活用」は3問を選択しています。